



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

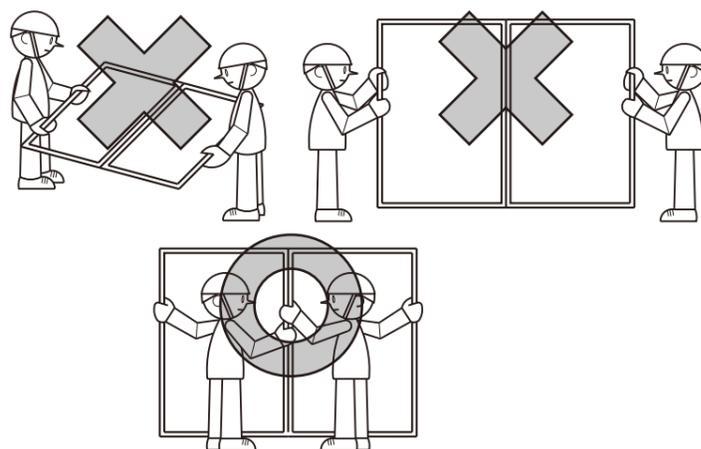
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
 - ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
 - ・浴室には使用しないでください。
 - ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール（同梱）を張付けてください。

■組立て上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後にしてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡しください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



■連窓方立180°の種類

連窓方立180° (45)	連窓方立180° (70)	テラスドア用方立

■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

イ	ロ	ハ
バインド小ねじ M4×8	皿タッピンねじ φ4×12	ナベタッピンねじ φ4×20

■部品一覧表

連窓用裏板	上キャップ	下キャップ	防水補助シール	収縮かくしピース	穴かくしラベル ※引違いサッシに同梱

■組立て順序

1 連窓用裏板の取付け

●連結部上下（室内側）に連窓用裏板を入れ、枠をそれぞれ組立てます。

①連結側縦枠上下2箇所室内側組立てねじを緩めます。

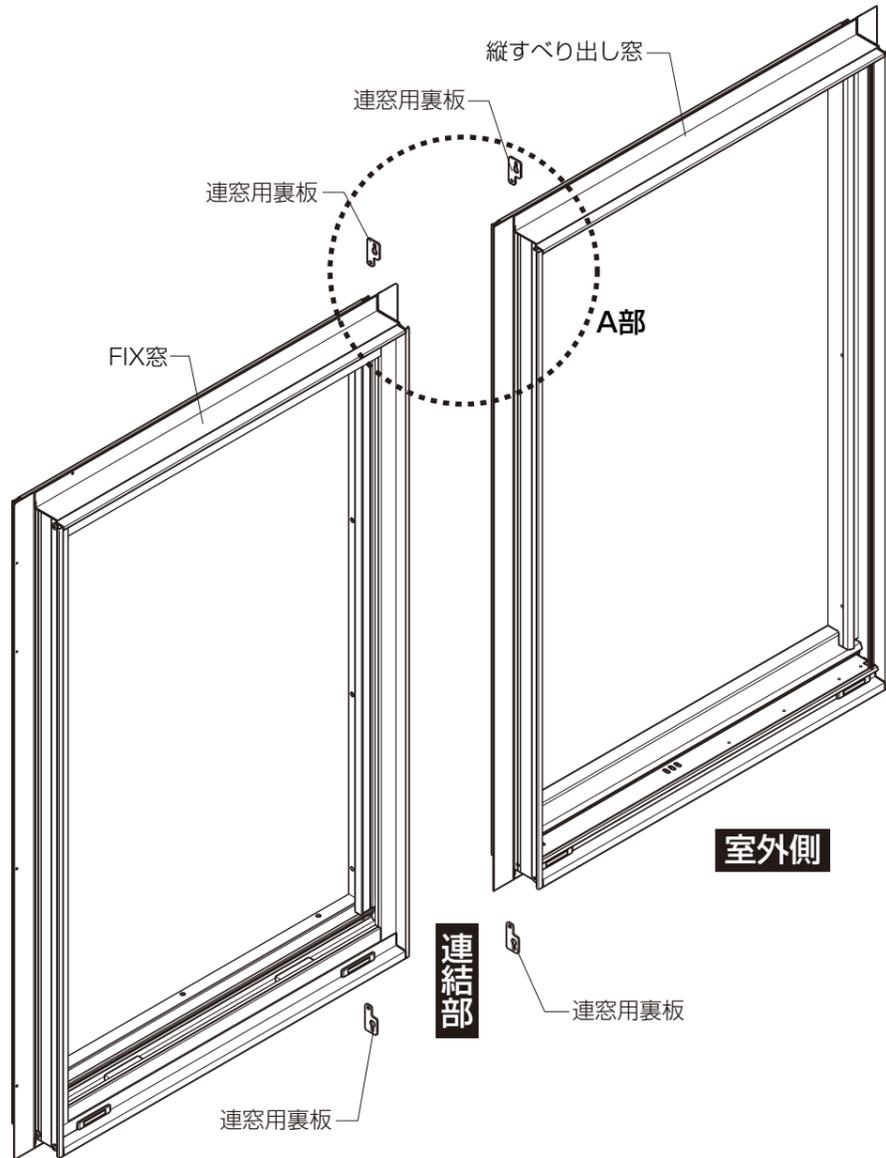
②緩めたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締直してください。

連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。

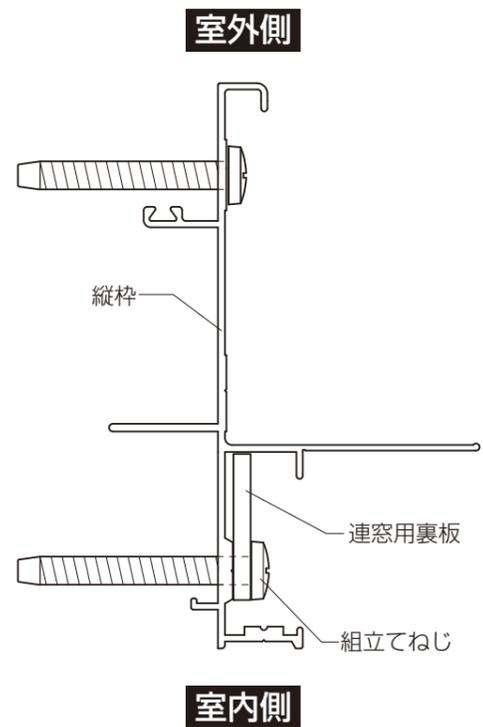
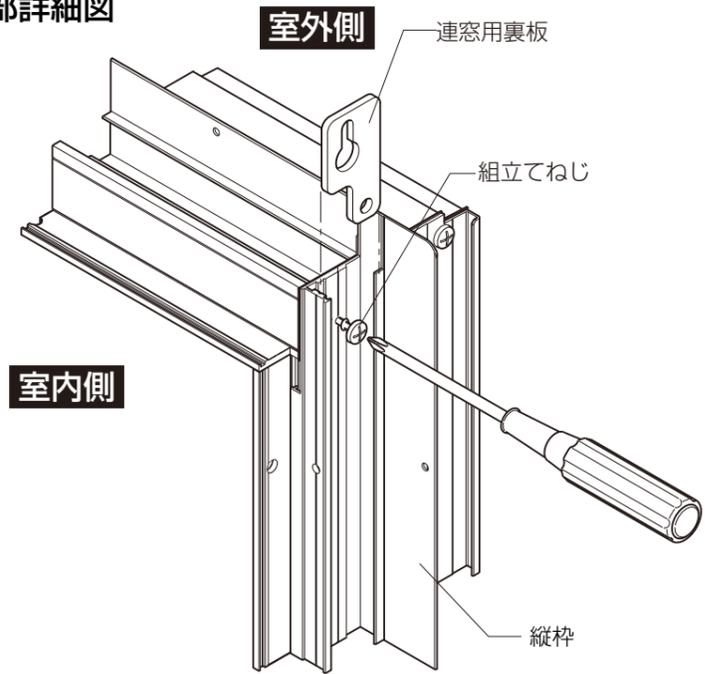
※裏板は上下、左右、品種によらず共通です。

※引違いサッシを連窓する場合、連窓用裏板の丸穴と縦枠の組立て穴を合わせてねじ止めします。

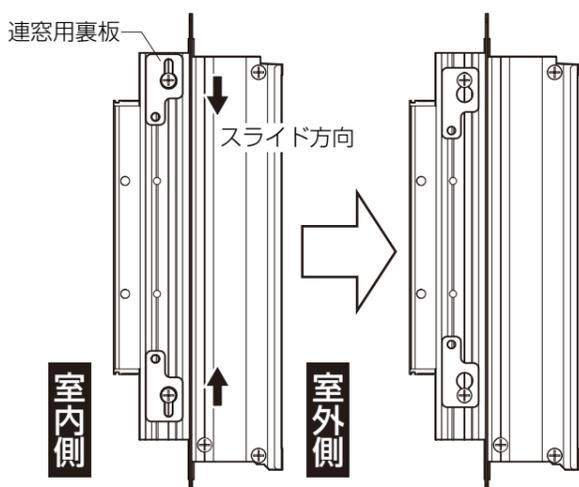
【組立て例：縦すべり出し窓+FIX窓】



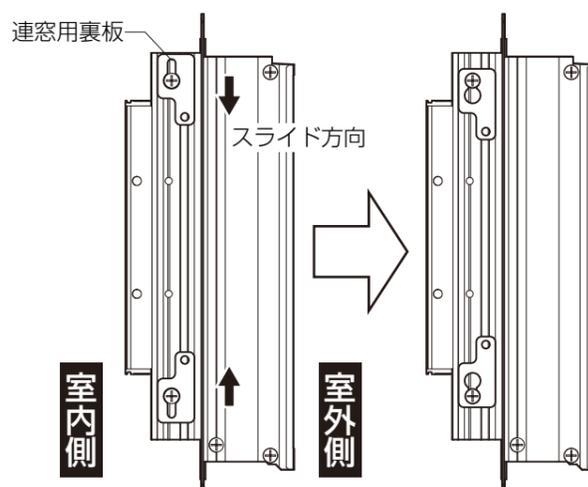
■A部詳細図



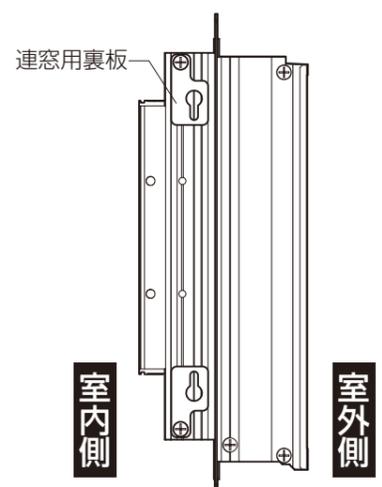
●組立てねじが室外側によっている場合



●組立てねじが室内側によっている場合



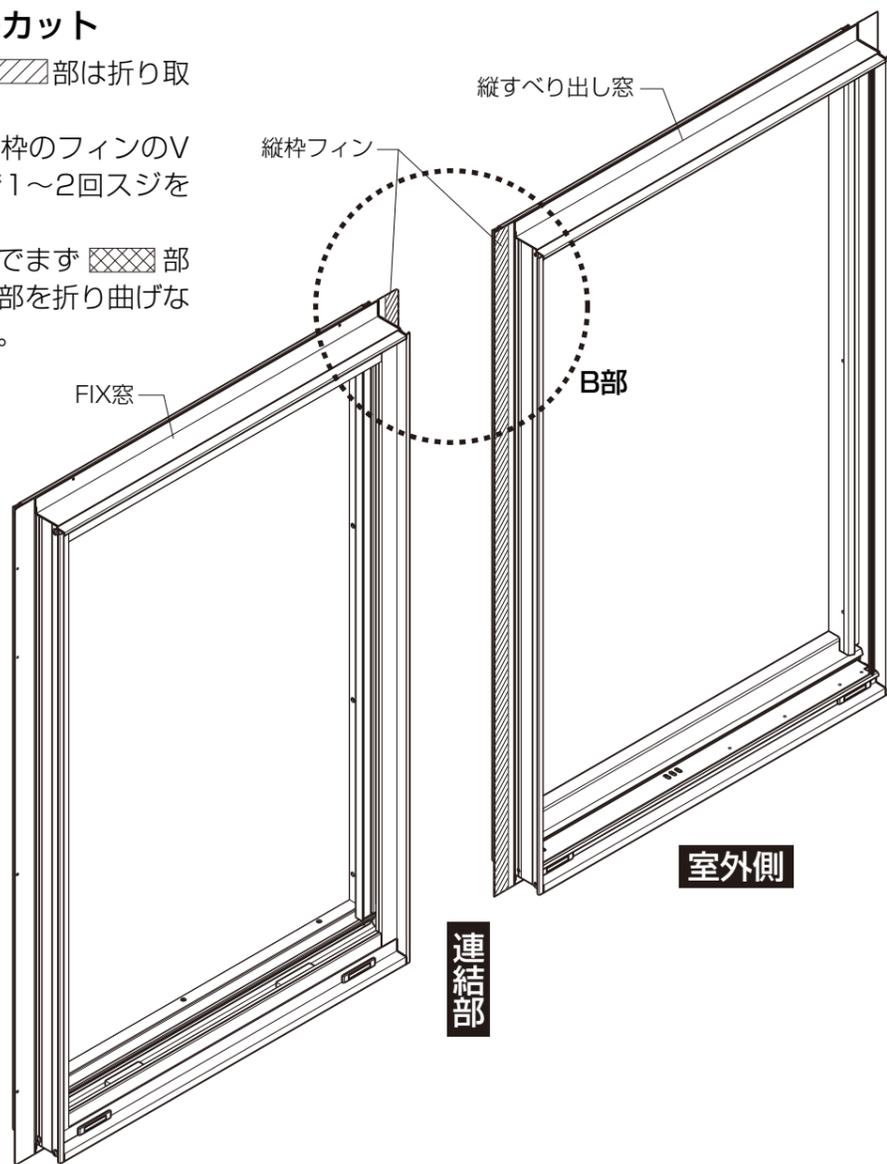
●引違いサッシを連窓する場合



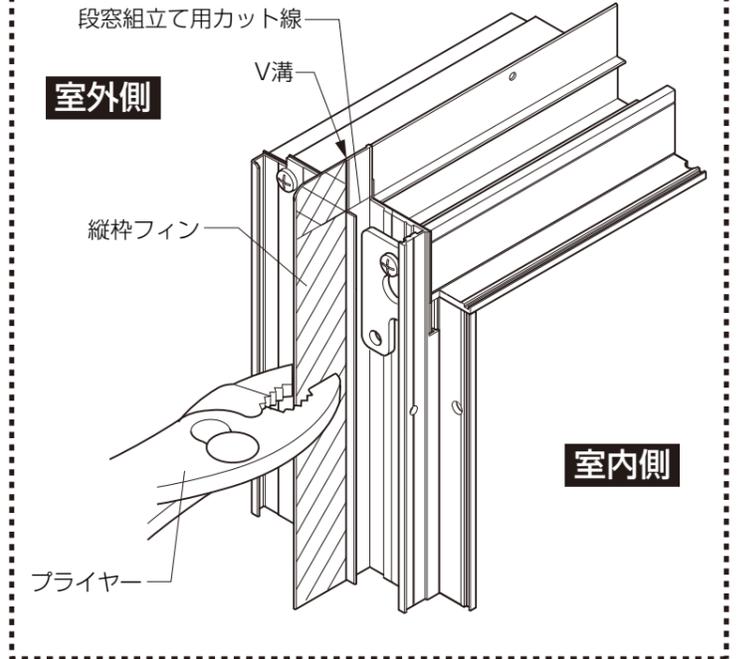
2 縦枠フィンのカット

※規格品の場合、部は折り取り済みです。

- ① 連結する側の縦枠のフィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。
- ② プライヤーなどでまず 部を、次に 部を折り曲げながら取去ります。



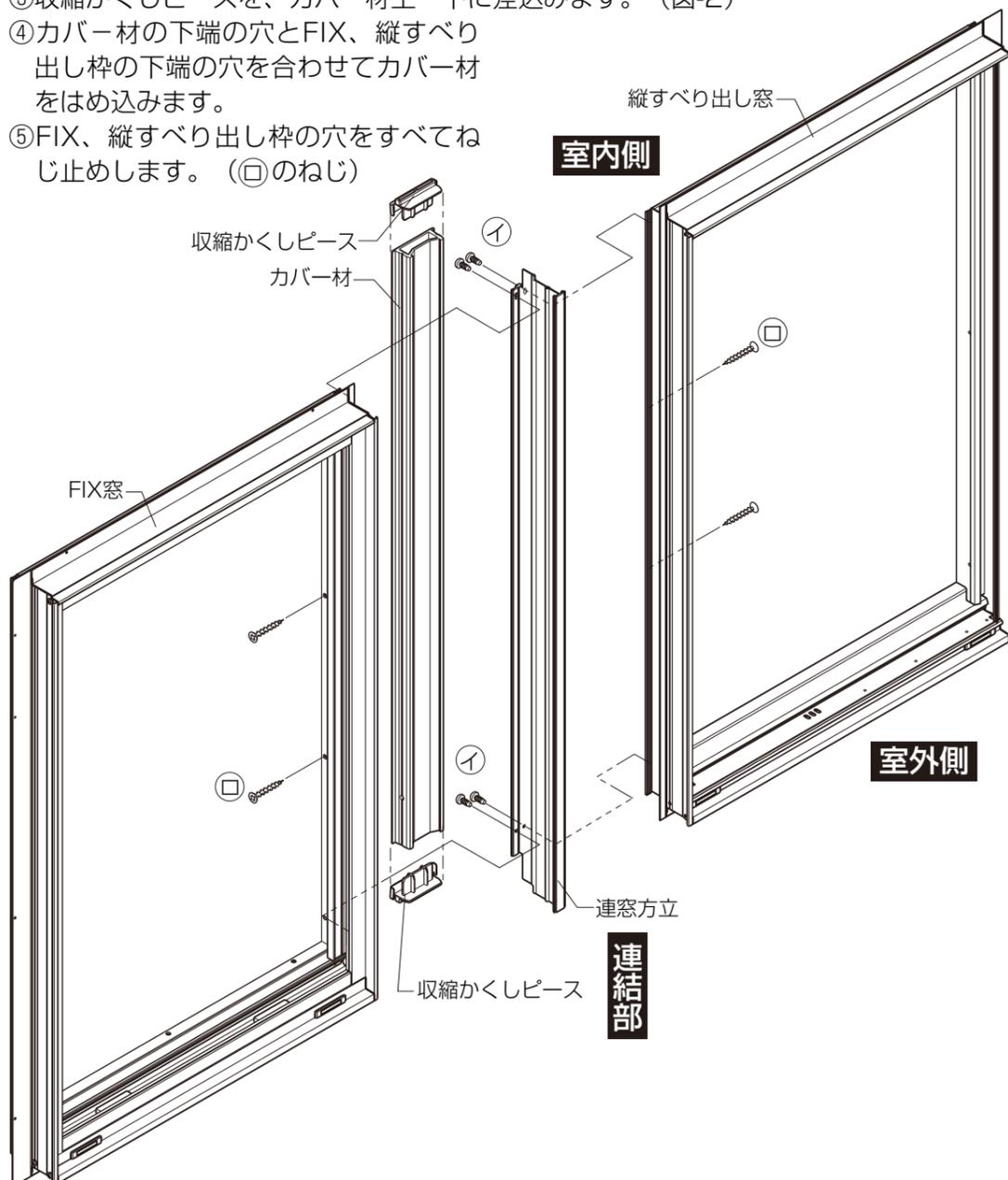
B部詳細図



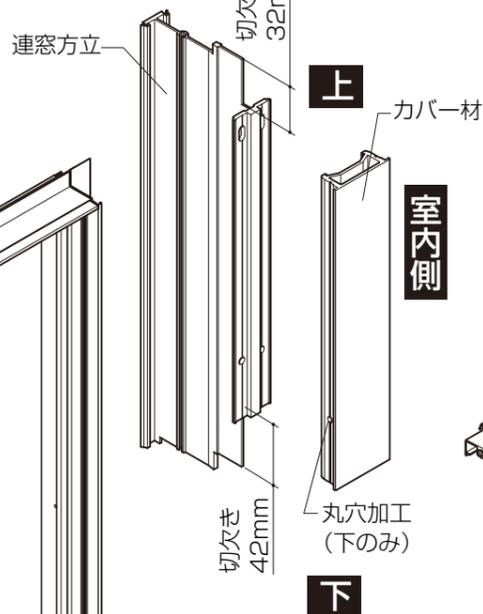
3 連窓方立との連結

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。(図-1)

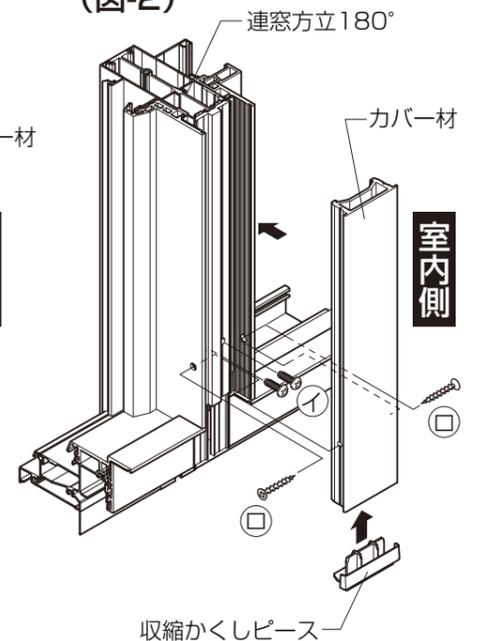
- ① 連窓方立をFIX枠にはめ込みます。
- ② 縦すべり出し枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。(①のねじ)
- ③ 収縮かくしピースを、カバー材上・下に差込みます。(図-2)
- ④ カバー材の下端の穴とFIX、縦すべり出し枠の下端の穴を合わせてカバー材をはめ込みます。
- ⑤ FIX、縦すべり出し枠の穴をすべてねじ止めします。(②のねじ)



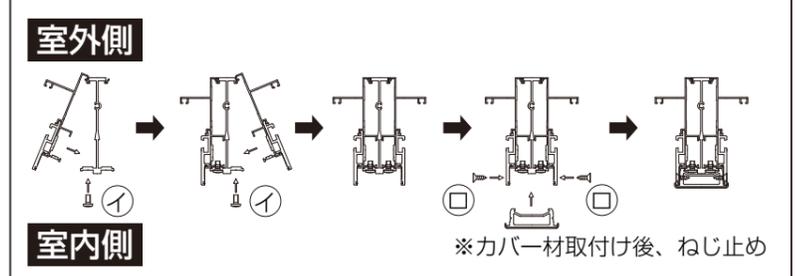
(図-1)



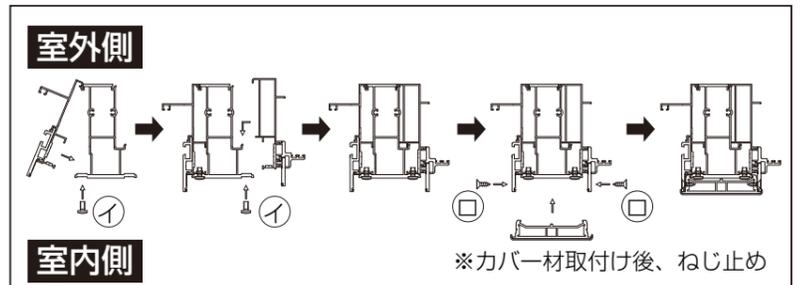
(図-2)



■ 連窓方立 (45)、(70) タイプ



■ ドア用方立180°タイプ



4 上・下キャップの取付け

- 連結部の上・下にキャップを取付けます。
※キャップには上・下がありますので確認してください。
- フィンの裏面より防水補助シールを張付けます。

▲ 注意

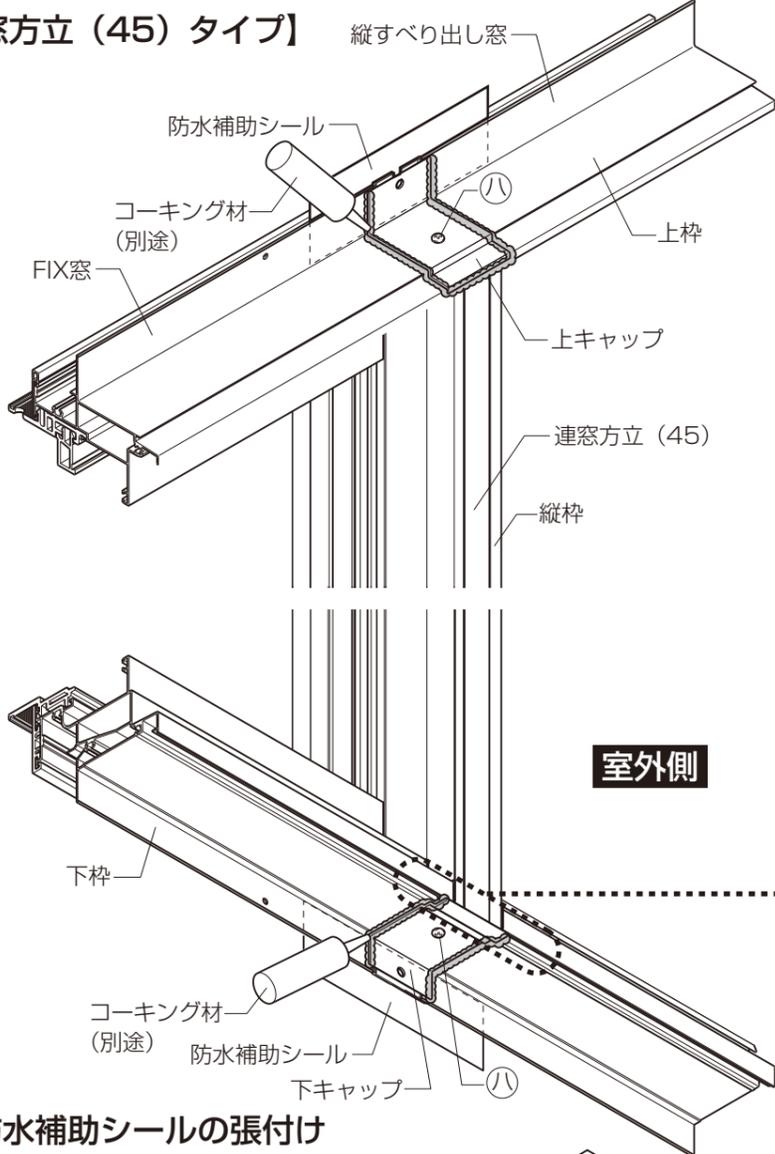
- 上・下キャップ取付け後、指定箇所(□部)にコーキング材(別途)を充てんしてください。

▲ 注意

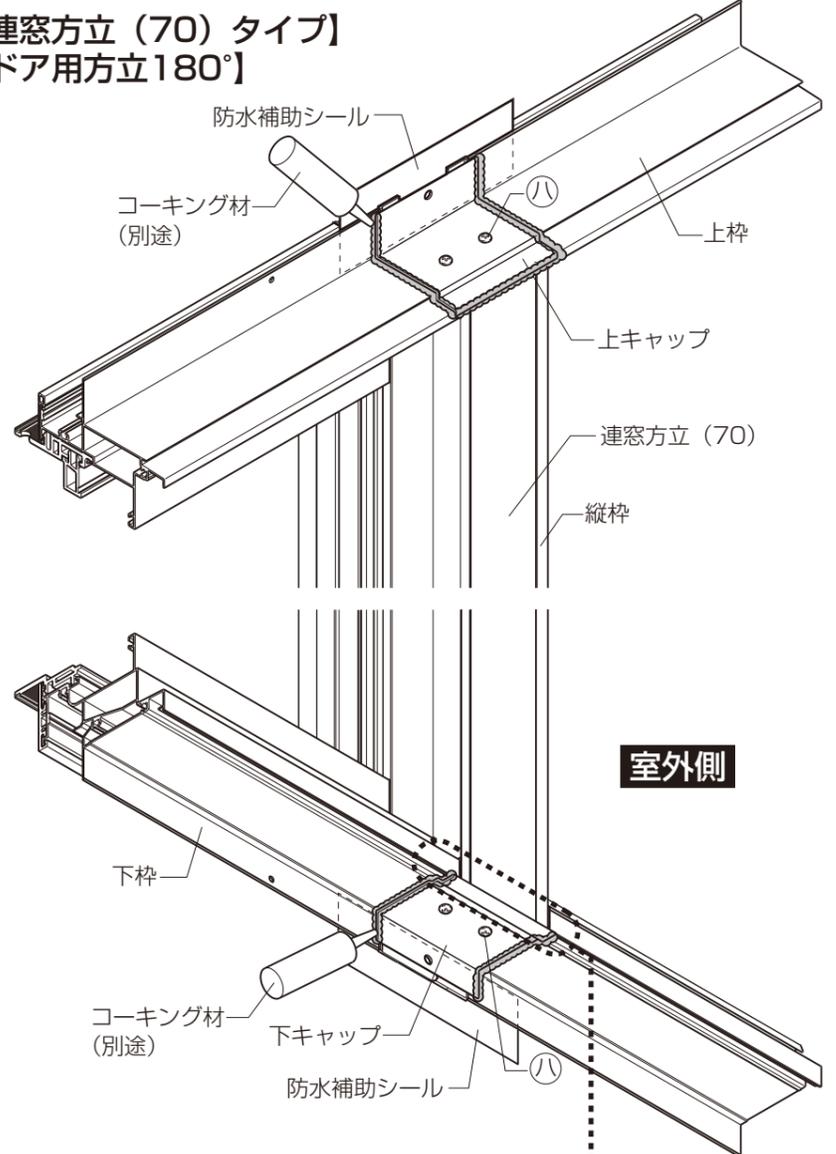
- 上・下キャップ取付け後、指定箇所に防水補助シール(同梱)を張付けてください。

コーキング材について
シリコン系コーキング材は使用しないでください。
ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

【連窓方立(45)タイプ】

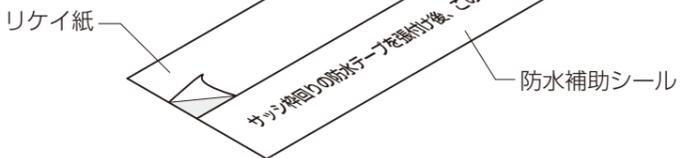


【連窓方立(70)タイプ】 【ドア用方立180°】



■ 防水補助シールの張付け

- 片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。
※必ず文字の書いていない方をはがしてください。



▲ 注意

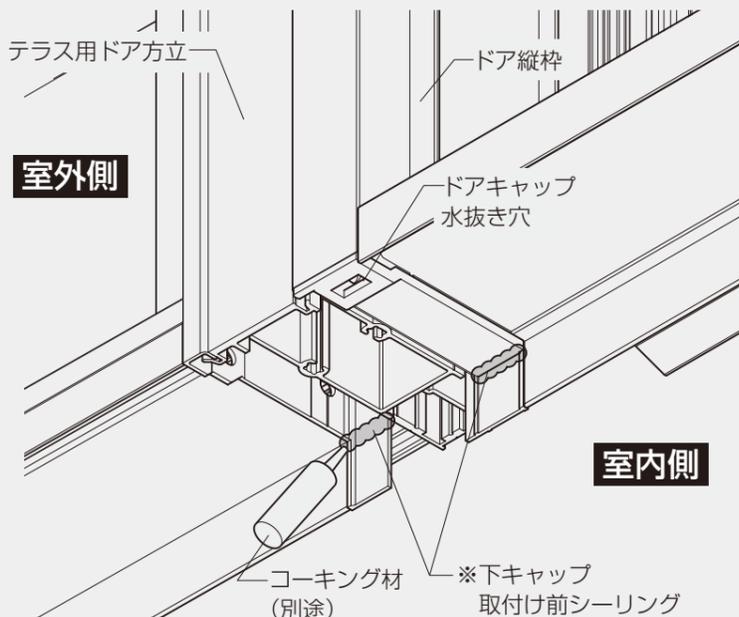
- 排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングをしないでください。

▲ 注意

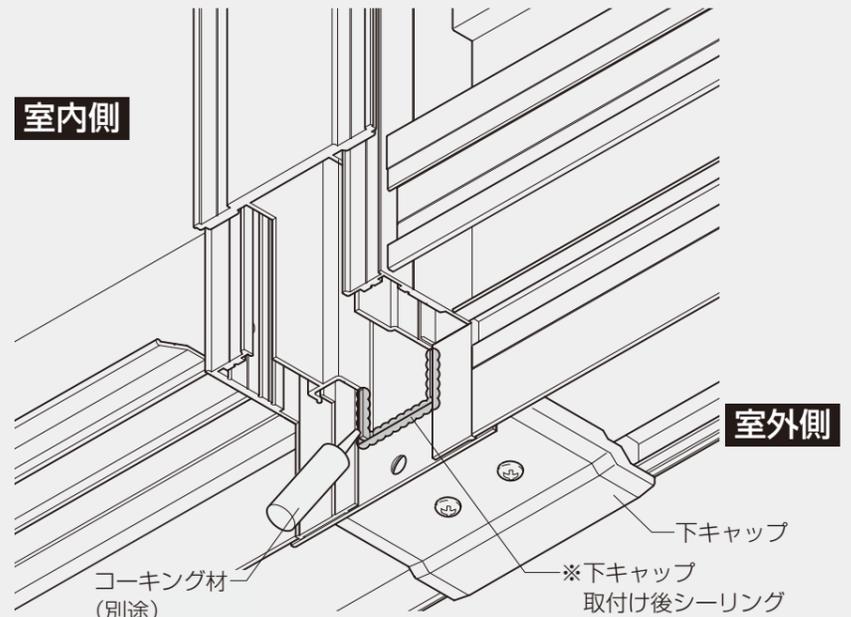
- 下キャップは、止水性を確保するため、コーキング材(別途)を充てんしてください。(全品種)

〈組立て例：ドア用方立180°の場合〉

【方立下キャップ取付け前(外観図)】



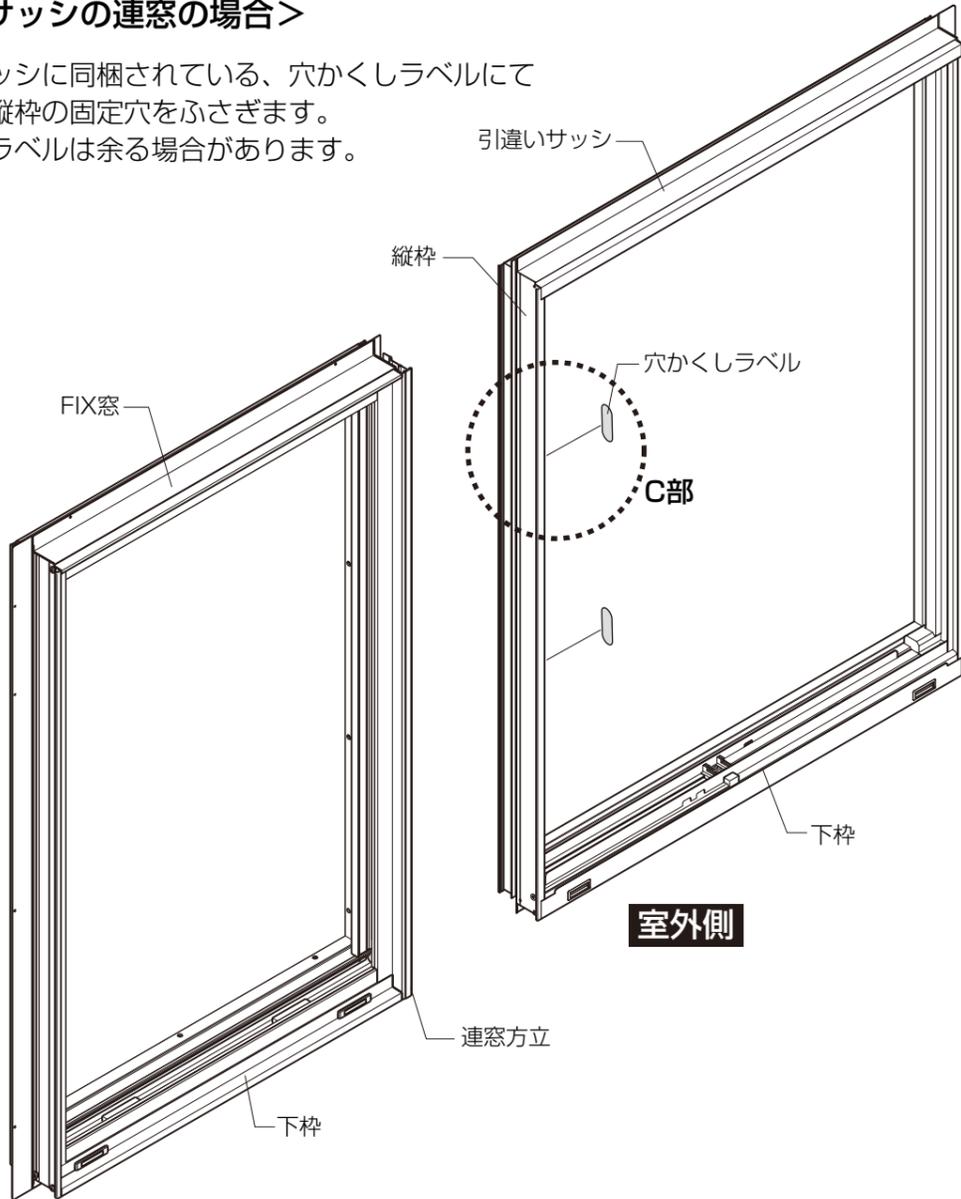
【方立下キャップ取付け後(内観図)】



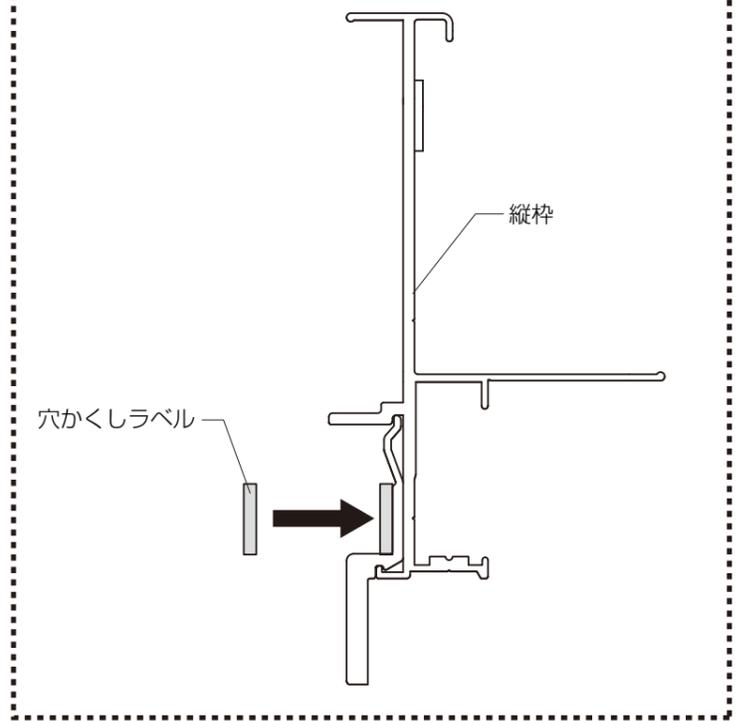
●引違いサッシとテラス・勝手口ドアの連窓の場合、以下の項目が追加となります。

<引違いサッシの連窓の場合>

●引違いサッシに同梱されている、穴かくしラベルにて連窓側の縦枠の固定穴をふさぎます。
※穴かくしラベルは余る場合があります。

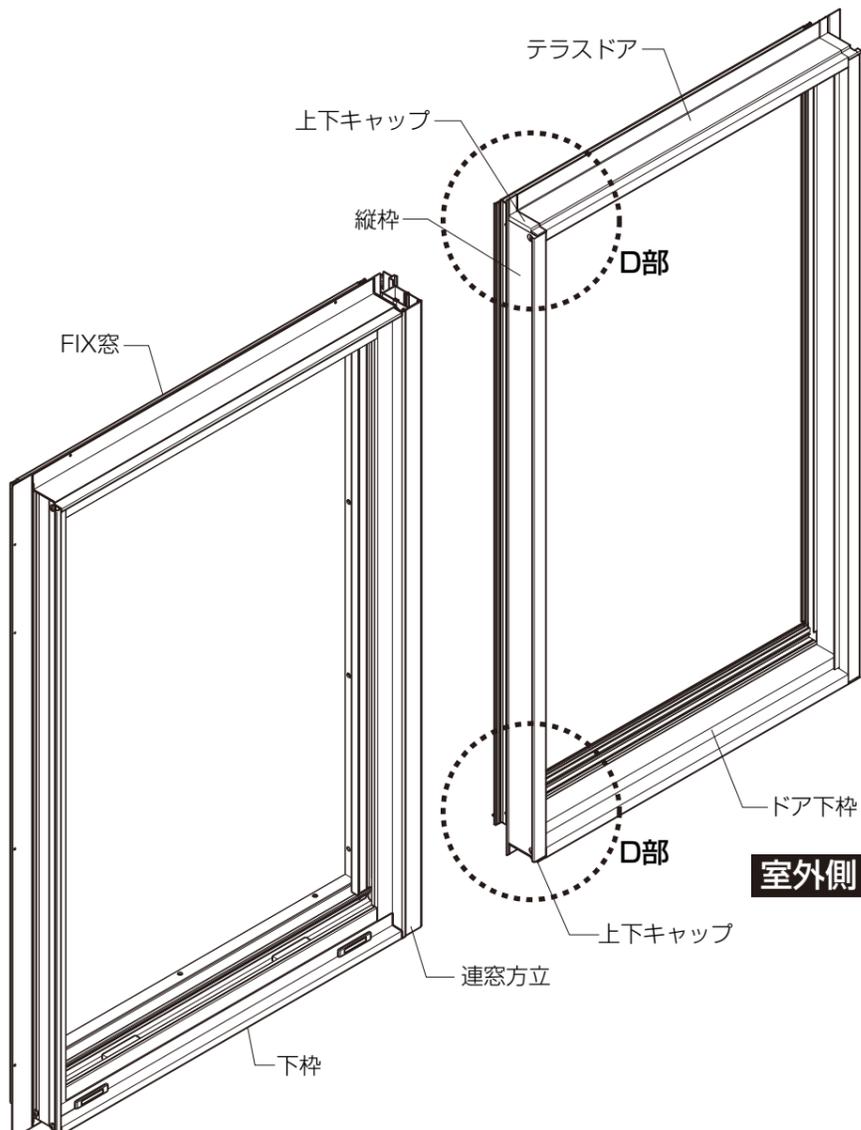


■C部詳細図

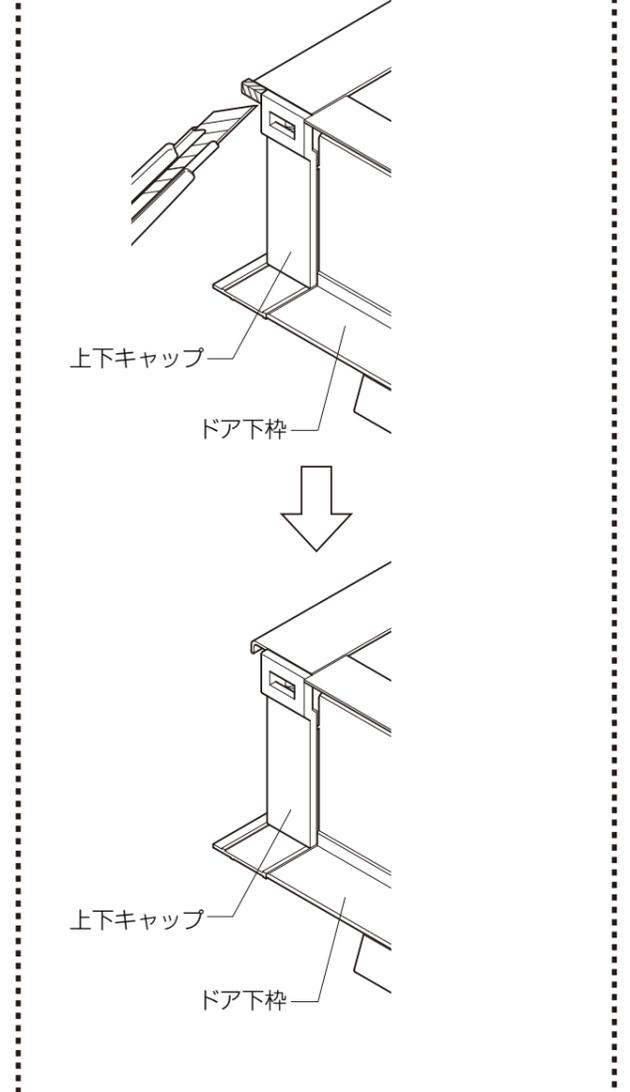


<テラス・勝手口ドアの連窓の場合>

●連窓側の縦枠上下に取付けてあるキャップの  部をカッターなどででいねいに切ってください。(シンフォニーの場合のみ)



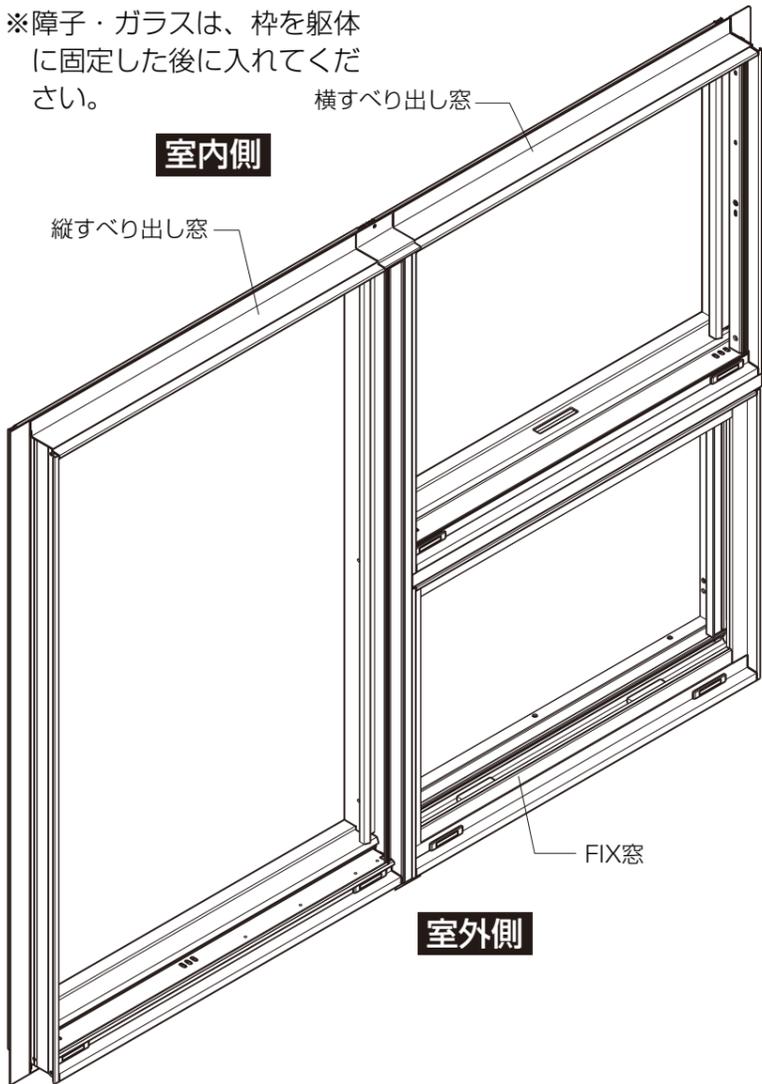
■D部詳細図



■連段窓の場合の組立て順序

【組立て例：縦すべり出し窓+横すべり出し窓+FIX窓】

※障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後に入れてください。

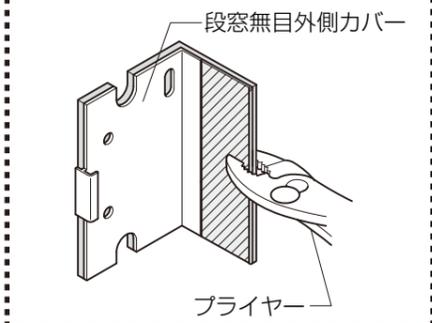


■1段窓部の組立て

※詳細は、「段窓無目組立て説明書」を参照してください。

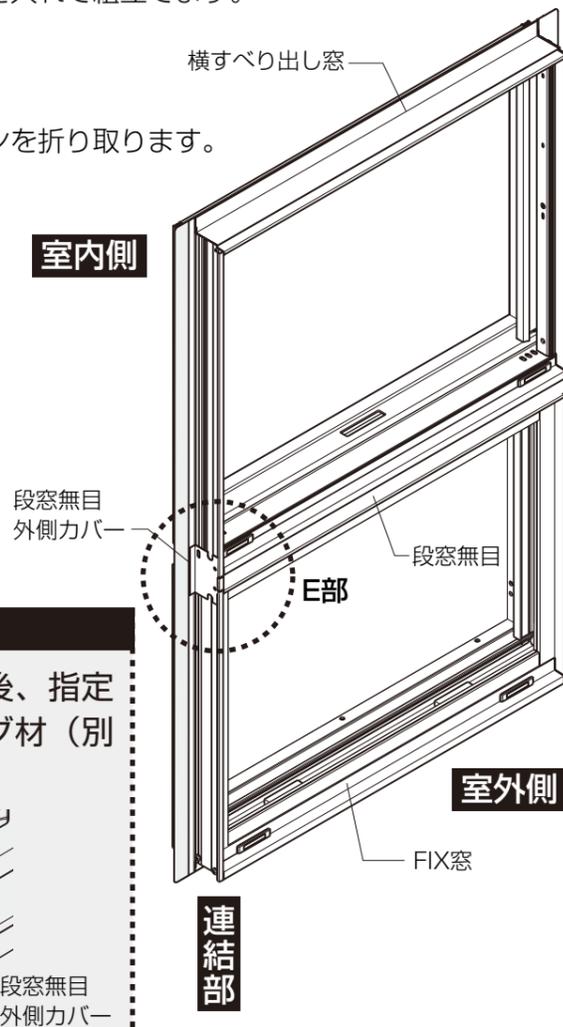
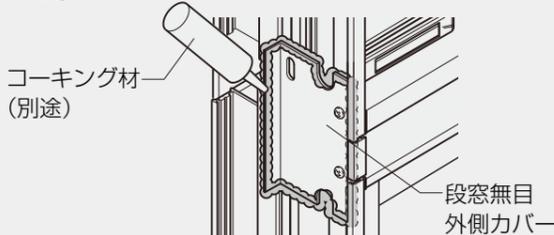
- ①連結部上下（室内側）に連窓用裏板を入れて組立てます。
（1連窓用裏板の取付け）参照
- ②連結部の縦枠フィンを取り取ります。
（2縦枠フィンのカット）参照
- ③段窓無目外側カバーの連結部のフィンを取り取ります。
（E部詳細図）

■E部詳細図



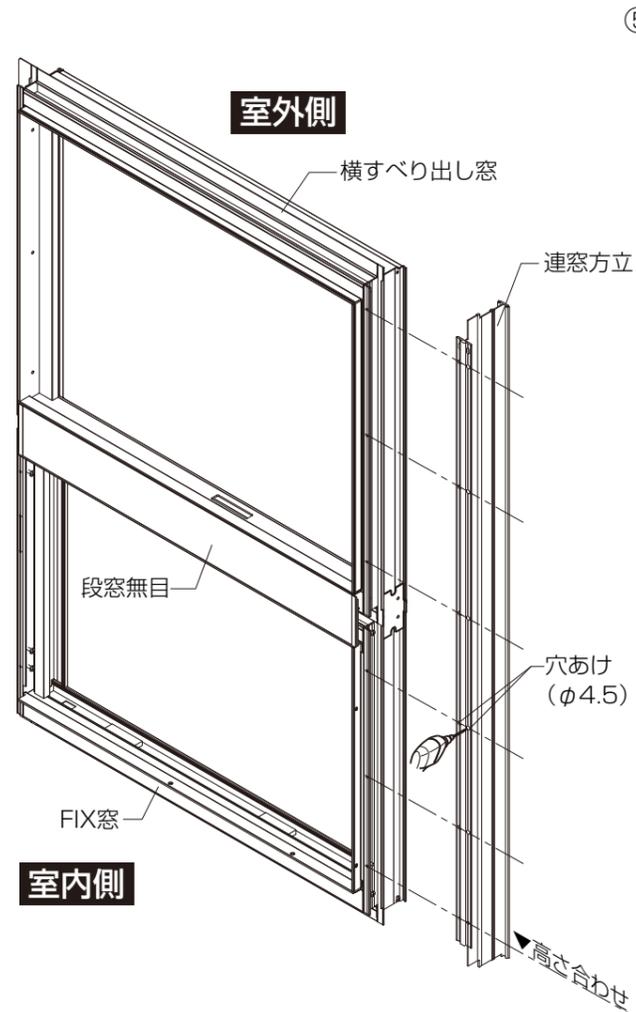
▲注意

- 段窓無目外側カバー取付け後、指定箇所（部）にコーキング材（別途）を充てんしてください。



■2連結穴の穴あけ

- 段窓サッシと連窓方立の下端の穴の高さを合わせ、連窓方立に穴をあけてください。（φ4.5）



■3連窓方立との連結

- ①段窓の縦部材に連窓方立をはめ込みます。
- ②縦すべり出し枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。
- ③収縮かくしピースをカバー材上下に差込みます。
- ④カバー材の下端の穴と段窓サッシ、縦すべり出し枠の下端の穴を合わせてカバー材をはめ込みます。
- ⑤段窓サッシ、縦すべり出し枠の穴をすべてねじ止めします。

